2026年２月13日

各　位

会 社 名　　株 式 会 社 ヤ シ マ キ ザ イ
代表者名　　代表取締役 社長執行役員　髙田　一昭
（コード番号：7677　東証スタンダード市場）
問合せ先　　取締役 常務執行役員　阿部　昌宏
（TEL 03-4218-0096）

2026年３月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2025年５月15日に公表いたしました2026年３月期通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．通期連結業績予想の修正について

2026年３月期通期連結業績予想数値の修正（2025年４月１日～2026年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 30,000	百万円 150	百万円 290	百万円 190	円 銭 66.22
今回修正予想（B）	33,844	378	538	374	130.17
増減額（B－A）	3,844	228	248	184	63.95
増減率（%）	12.9%	152.4%	85.8%	97.2%	96.6%
（ご参考）前期実績 (2025年３月期)	29,046	▲44	▲511	▲509	▲177.73

２．修正の理由

2026年３月期通期の業績につきましては、大阪万博開催や円安傾向を受けたインバウンド需要の高まりに加え、国内でも景気の緩やかな回復と賃上げ傾向等を受けて、当社の主要顧客である国内鉄道事業者の業績回復が顕著となったこともあり、当社の想定以上に受注環境が好転しました。安全投資としての保守部品需要に加え、経済や労働市場の動向等を見据えた省力化・省人化・業務効率化等に係る商材・サービス需要も増加して受注が増加したほか、鉄道事業者等がその好調な業績を背景に修繕計画等を前倒しして、本来翌期以降に想定していた案件が当期にスライドしたため、売上高が既に公表した数値を上回る見込みとなりました。

利益面では、売上高の増加に伴って販売費等の経費の増加が予想されるものの、売上総利益の増加が上回り、営業利益および経常利益も増加する見込みとなりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益・経常利益の増加に加え、本日公表の当第３四半期決算時点で計上済みの貸倒引当金の戻入による特別利益もあって、当初想定数値を上回る見込みとなりました。

このような状況を勘案し、2026年３月期通期連結業績の見通しを上記の通り修正いたします。

なお、2026年３月期の期末配当につきましては、既に公表いたしました予想から変更はございません。期末配当25.00円を予定しております。

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以　上